

事務事業評価表 平成22年度

政策 政策の総合推進
 施策 施策の総合推進その5
 基本事業 施策の総合推進その5

事業名 **えべつスノーフェスティバル開催事業**

[0586]

部名	総務部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	総務課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>スノーフェスティバル実行委員会</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通して、冬を楽しみ、雪に親しみながら、親子のふれあいや市民相互の交流を深める。 ・青少年の健全育成を推進する。
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>自治会連絡協議会、商工会議所、青年会議所などで構成している冬季イベント実行委員会に対して、スノーフェスティバル開催経費の一部を補助する。メイン会場では雪像の制作、イベントバザーの開催を行う</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	実行委員会構成団体数	団体	14	14	19	14
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	2,600	2,470	2,300	2,180
活動指標2						
成果指標1	メイン会場来場者数	人	23,000	25,000	25,000	20,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,600	2,470	2,300	2,180
正職員人件費 (B)		千円	419	836	1,660	1,666
総事業費 (A) + (B)		千円	3,019	3,306	3,960	3,846

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 2,300千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	平成13年度より同時期に開催してきたマシュマロンピックは、平成20年度より事業名から外れ、スノーフェスティバル開催事業となった。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

観光の振興、世代間の交流、コミュニティの醸成など、地域の活性化に貢献している。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

冬期間では、市内最大のイベントであり四季を通じても江別市の代表的なイベントのひとつとなっている。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

市民参加型の冬季イベントとして定着している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

すでに広く市内全域の市民、団体等が参加して開催している。市民によるボランティアを中心に開催しており、事業内容には一定の限界がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

さらに企業、商店街、農業団体などより広く参加と協力を求めて、企業広告など商業ベースを導入するなど自主財源の確保を図る考え方もあり得るが、現在の経済状況では協賛金収入などの増加は見込めない。